

CASBEE-建築(新築)2016年版
西鉄祇園ホテル(仮称)建設工事

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質									3.2
Q1 室内環境					0.40		-		3.3
1 音環境				3.3	0.15	3.1	1.00		3.2
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40	3.0	0.40		
1.2 遮音				4.9	0.40	3.4	0.40		
1 開口部遮音性能		T-2		5.0	0.99	5.0	0.30		
2 界壁遮音性能				3.0	0.01	3.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	-	2.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	-	3.0	0.20		
1.3 吸音				1.0	0.20	3.0	0.20		
2 温熱環境				2.9	0.35	3.1	1.00		3.0
2.1 室温制御				3.6	0.50	4.0	0.50		
1 室温		夏季25℃、冬季23℃		4.0	0.38	4.0	0.57		
2 外皮性能		窓SC:0.349、U=3.34W/m ² K、外壁等U=0.44~1.09W/m ² K		4.0	0.25	4.0	0.43		
3 ゾーン別制御性				3.0	0.38	-	-		
2.2 湿度制御				1.0	0.20	1.0	0.20		
2.3 空調方式				3.0	0.30	3.0	0.30		
3 光・視環境				3.1	0.25	3.3	1.00		3.2
3.1 昼光利用				4.6	0.30	4.2	0.30		
1 昼光率		共用部:2.50%以上、客室:1.25%以上		5.0	0.60	5.0	0.60		
2 方位別開口				-	-	3.0	-		
3 昼光利用設備		ハイサイドライト設置		4.0	0.40	3.0	0.40		
3.2 グレア対策				2.0	0.30	3.0	0.30		
1 昼光制御				2.0	1.00	3.0	1.00		
3.3 照度				3.0	0.15	3.0	0.15		
3.4 照明制御				3.0	0.25	3.0	0.25		
4 空気質環境				3.8	0.25	3.7	1.00		3.8
4.1 発生源対策				4.0	0.50	4.0	0.63		
1 化学汚染物質		F☆☆☆☆		4.0	1.00	4.0	1.00		
4.2 換気				3.0	0.30	3.3	0.38		
1 換気量				3.0	0.50	3.0	0.33		
2 自然換気性能		客室床面積の1/15以上の自然換気有効開口を確保		3.0	0.00	4.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.50	3.0	0.33		
4.3 運用管理				4.9	0.20	-	-		
1 CO ₂ の監視				3.0	0.01	-	-		
2 喫煙の制御		負圧喫煙室の設置		5.0	0.99	-	-		
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-		3.3
1 機能性				3.4	0.40	3.2	1.00		3.2
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	3.0	0.60		
1 広さ・収納性				3.0	0.00	1.0	0.50		
2 高度情報通信設備対応		Gbitクラスのブロードバンドが利用可能		3.0	0.00	5.0	0.50		
3 バリアフリー計画				3.0	0.99	-	-		
1.2 心理性・快適性				3.9	0.30	3.5	0.40		
1 広さ感・景観		客室天井高さ:2.50m以上		3.0	0.00	4.0	0.50		
2 リフレッシュスペース				3.0	0.00	-	-		
3 内装計画		照明と内装の一体的計画、パースによる事前検証実施		4.0	0.99	3.0	0.50		
1.3 維持管理				3.5	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保		清掃が容易な計画等		4.0	0.50	-	-		
2 耐用性・信頼性				4.1	0.30	-	-		4.1
2.1 耐震・免震・制震・制振				4.8	0.50	-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		Z=0.8、I=1.25		5.0	0.80	-	-		
2 免震・制震・制振性能		防振吊金具等により内部設備保護が図られている		4.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.3	0.30	-	-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.20	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		屋外・厨房系統にガルバリウム鋼板を採用		4.0	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		主要用途上位3種のうち2種以上にB以上使用、Eは不使用		5.0	0.20	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20	-	-		
2.4 信頼性				3.6	0.20	-	-		
1 空調・換気設備				3.0	0.20	-	-		
2 給排水・衛生設備		配管系等の区分、再生水利用、受水槽緊急時水栓の設置		4.0	0.20	-	-		
3 電気設備				3.0	0.20	-	-		
4 機械・配管支持方法		耐震クラスA		4.0	0.20	-	-		
5 通信・情報設備		通信手段の多様化、精密機械の地下設置なし、緊急地震速報受信		4.0	0.20	-	-		

3 対応性・更新性			3.0	0.30	2.6	1.00	2.7
3.1 空間のゆとり			3.0	0.00	2.2	0.50	
1	階高のゆとり		3.0	0.60	1.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	0.1 ≤ 壁長さ比 < 0.3	3.0	0.40	4.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.00	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	0.99	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.0
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.6
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.8
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI _m =0.77	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用		ハイサイトライト設置	4.0	0.10	-	-	4.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEI _m] = 0.76	3.7	0.50	-	-	3.7
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.6
1 水資源保護			3.5	0.20	-	-	3.5
1.1 節水		省水型便器、擬音装置、自動水栓、泡沫水栓、節水コマ採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.3	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無	再生水利用	4.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.7	0.60	-	-	3.7
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		木材・プラスチック再生複合材、タイルカーペット、断熱材、砕石	5.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		解体時の分別が容易な工法及びOAフロアの採用	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.20	-	-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用		水性プライマー使用	4.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	ODP=0、GWP=3	4.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮		LCO2排出率80%	3.8	0.33	-	-	3.8
2 地域環境への配慮			2.6	0.33	-	-	2.6
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.5	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	駐車駐輪場・荷捌用駐車場設置、敷地内車路により渋滞緩和へ配慮	5.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害チェックリストおよび広告物照明の配慮事項の過半を満たす	5.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	